

令和7年度「一般選抜（前期日程）」

出題の意図

「簿記・会計」

- ・ 各学部・学科の試験科目については、入学試験要項等を参照してください。
- ・ 出題の意図に関する質問や問合せには一切回答いたしません。

出題の意図

試験日	2025 年 2 月 3 日
教科・科目名	簿記・会計

I	企業会計原則と損益計算の基準について出題しています。問 1 は、基本的用語を理解しているかを問うています。問 2 は発生主義によらず実現主義によって収益をとらえる理由についての記述問題です。基本に忠実に学習しているかを問う問題です。
II	(1) は商品販売時に消費税を受け取った場合、(2) は給与の支払時に預り金勘定で処理していた源泉徴収分を納付するときの仕訳、(3) は株式発行に要した費用は設立時であるため、「創立費」勘定で処理する場合、(4) は先方負担の引取運賃は買掛金か立替金で処理するが、本問では指示より立替金勘定で処理する場合、(5) は固定資産の売却など多様な場面における理解度を確認しています。
III	売上原価算定の決算整理仕訳を問う問題です。損益勘定の処理周辺論点を主に出題しています。
IV	金額を推定して精算表を完成させる問題です。決算整理仕訳を推定して修正記入欄を完成させるとともに、判明した勘定科目について損益計算書欄および貸借対照表欄の記入もあわせて効率良く解答できているか、スピードと正確性が問われます。

出題の意図

試験日	2025 年 2 月 4 日
教科・科目名	簿記・会計

I	貸借対照表の分類、期間損益の計算方法、収益・費用の認識基準など、財務会計の基本事項について問う問題です。会計学の基礎的な知識を習得しているかを確認することを目的としています。
II	商品売買など企業の日常的な取引についての仕訳問題です。仕訳の基礎的な知識および能力を習得しているかを確認することを目的としています。
III	減価償却費と経過勘定項目について財務諸表に計上する金額を問う問題です。決算整理事項について金額を正確に計算する能力を習得しているかを確認することを目的としています。
IV	連結会計における資本連結と成果連結の基本的な処理を問う問題です。連結精算表を作成するための基礎的な知識および能力を習得しているかを確認することを目的としています。

出題の意図

試験日	2025 年 2 月 5 日
教科・科目名	簿記・会計

I	前払金、前受金、未収金、未払金について、商品の仕入れに関して、十分な理解ができているかを問う問題です。高等学校の教科書に基づき、前払金、前受金、未収金、未払金の考え方に関する基礎的な理解しているかどうかを問う問題です。
II	高等学校の教科書で取り上げられている様々な取引の仕訳をどの程度習得しているかを問う問題です。仕訳に関する基本的な学習内容が十分に身についているか確認することを目的として出題しています。
III	(1)は継続記録法と棚卸計算法について、(2)は子会社株式の評価損の算定方法について、それぞれ十分に理解できているかを問うことを目的として、高等学校の教科書で学習した内容と同水準の問題を出題しています。
IV	報告式の個別貸借計算書を作成する総合問題を出題しています。高等学校の教科書で学習した内容を目安として基本的な知識を問う問題を多く出題しています。

出題の意図

試験日	2025 年 2 月 6 日
教科・科目名	簿記・会計

I	会計分野で使われる資産の定義と分類、およびそれに関連する会計処理の基礎知識を問う理論問題です。会計学の基礎的な知識を習得しているかについての確認を目的としています。
II	多様な取引における基本的な仕訳処理能力と、関連する会計基準の理解度を測る仕訳問題です。仕訳の基礎的な知識および能力を習得しているかについての確認を目的としています。
III	連結会計における子会社の判定基準と、支配獲得時の連結財務諸表作成能力を評価する問題です。グループ会社が制度的にどのように成り立っているのかについて理論的な側面からの理解度の確認を目的としています。
IV	決算整理事項を適切に処理し、損益計算書を作成する問題です。損益計算書を作成するための基礎的な知識および能力を習得しているかについての確認を目的としています。

出題の意図

試験日	2025 年 2 月 11 日
教科・科目名	簿記・会計

I	I では、「簿記・会計」の出題範囲のうち、特に「会計」の分野から出題しています。本問では、会計学において極めて重要な論点である貸倒引当金について、金額の計算、財務諸表上の表示および会計処理の意義と 3 つの視点から出題し、総合的な理解について確認しています。
II	II では、やや高度かつ複雑な取引に関する会計処理について、仕訳の形式で解答を求める出題をしています。本問では、電子記録債権の譲渡、リース取引、自己株式、役務収益および外貨建取引の 5 つの分野から出題し、いずれも比較的高度な知識について確認しています。
III	III では、「簿記・会計」の出題範囲に関する計算問題を出題しています。本問では、「簿記・会計」において必ず理解しておいてもらいたい論点である収益・費用の見越し・繰り延べについて、特に「再振替仕訳」に関する理解について確認しています。
IV	IV では、決算に関する問題を出題しています。本問では、通常の個別企業の決算ではなく、企業集団の財務諸表を作成する連結決算に関する問題を出題しています。近年、連結財務諸表の重要性が増しており、それを理解したうえで学習に取り組んできたかについて確認しています。